

会議結果報告書

平成22年 3月 3日

会議の名称	志木市都市計画審議会
開催日時	平成22年 2月 3日(水) 2時00分～ 4時00分
開催場所	志木市役所 3階 301・302会議室
出席委員	大木善男会長、宮原克平委員、小日向広三委員、清水良介委員 国分めぐみ委員、池ノ内准子委員、磯野晶子委員 香川武文委員、田村成彦委員、丸山泉委員 (計10人)
欠席委員	中森豊子委員 (計1人)
説明員職氏名	都市計画課 岡野道治主幹 (計1人)
議題	議題 志木都市計画マスタープランの見直し案について
結果	本件については再審議とする。 次回日程は後日連絡する。 (傍聴者1人)
事務局職員	原田喜久男部長、岡野道治主幹、八木原淳市専任主査 小林綾子主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 志木都市計画マスタープランの見直し案について

<説明員>

都市計画マスタープランにはまちづくりの理念、都市計画の目標、目指すべき都市像等とその実現のための主要課題、課題に対応した整備方針等の全体構造、あるべき市街地像等の地域像、実施されるべき施策を定めるものとしていることから、都市基盤整備、都市計画事業の進展に伴う実態と記述のずれの解消。第四次志木市総合振興計画と整合性を図るための記述の見直し、計画表現上のわかりにくさの改善及び記述の簡素化を図る為、見直しをおこなうものです。

<質疑応答>

委員) 広域圏とあるが、マスタープランは全体との兼ね合いを示し、具体的に書いた方がよいのではなか。

委員) 専門用語は使わずに、具体的な言葉で書いてあった方が理解しやすい。

委員) わかりやすい言葉にした方がよい。

説明員) 20年先を見込んでの方針なので、このような表現になります。また、具体的には、実施計画の中で区画整理とか再開発という計画を立てて進めていくことになります。

委員) 一般の人はマスタープランを見ることが出来ますか。

説明員) ホームページで公表します。

委員) 都市計画審議会に都市計画マスタープランを諮問したのはなぜですか。

説明員) 志木市は審議会の議を得る考え方で諮問させて頂きました。

委員) 答申した意見はすべて対応していただけますか。

説明員) 誤字脱字等については見直しの対象になりますが、課題、方針、目標等の基本的な考え方は変えないつもりです。

委員) 表現方法についても整合性がとれていない部分は統一し、適切でない表現については精査してほしい。

説明員) 表現方法は訂正又は検討いたします。

委員) 254バイパス事業については、具体的記述であり、他との整合性が図れていないと思われる。説明願いたい。

説明員) 254バイパス事業は当市においては重要な位置付けである。このため市の対応、姿勢を市民に周知する目的から記述したものであります。

委員) 市のメイン通り中央通停車場線についての記述と比較した場合、バランスが悪い。
説明員) 中央通停車場線は近年中に整備されることから、254バイパスはまだ時間を要するため、市の姿勢を強調させたいと考えました。

県に対して、早く整備をしてほしい姿勢を示すということでの記述です。

委員) 254バイパス事業の記述が突出しているが、他との整合性を図っていただきたい。

説明員) 早く整備してほしいという姿勢を県に働きかけたいという記述です。

委員) 市が254バイパスの完成を目標としている様な表記はやめてほしい。

委員) その後、訂正後の案は配布されるのですか。審議会を開いて再確認するのか。

委員) 精査して、審議会の場を開催してもらいたい。

<結論>

もう一度審議会を開く。